

2014
第100号
平成26年4月21日

編集／議会広報常任委員会
発行／えびの市議会

えびの 市議会だより



春のグリーンパークえびの

主な内容

平成26年度の一般会計予算は

総額 109億1,700万円…………… P 2

一般質問（登壇14人）…………… P 4～10

常任委員会での審査内容…………… P 11～14

表決が割れた議案等の各議員の表決…………… P 16

6月定例会は、6月6日開会予定です

平成26年度一般会計当初予算は

総額 **109億1,700万円**に

(前年度比7.2%増)

平成26年度 国民健康保険特別会計予算は	総額36億9,700万円
平成26年度 後期高齢者医療特別会計予算は	総額 6億4,152万円
平成26年度 介護保険特別会計予算(保険事業勘定)は	総額30億2,572万円
(介護サービス事業勘定)は	総額 2,149万円
平成26年度 水道事業会計予算(収益的支出予定額)は	総額 3億6,653万円
平成26年度 病院事業会計予算(収益的支出予定額)は	総額12億1,922万円

3月
定例会

一般会計

基金13億を投入し、10億の重点施策

平成26年3月定例会は、3月4日から24日までの21日間開催し、報告2件、議案32件、陳情6件を審議。審議結果は次項の審議結果表のとおりです。

条例関係議案

提案された条例関係議案は12議案で、それぞれ、常任委員会での審査を経て、その全てを原案のとおり可決しました。改正議案の主なものは消費税の引き上げに伴うもの他、観光特別会計の廃止に伴う関係条例の整理など次ページ表のとおりです。

予算関係議案

●平成26年度一般会計予算

新年度の一般会計当初予算109億1700万円は、前年度当初予算に比べ7億3000万円増(同7・2%増)となりました。歳入の主なものは、市税が前年度比2・1%増の18億218万円、

基金からの繰入金と同60・2%増の13億1929万円、地方交付税を39億2487万円、地方債(市債)は7億6478万円見込んでいます。これら自主財源が歳入全体に占める割合は34・3%となります。

歳出は、3つの重点施策枠①定住・交流人口の増加(28事業)に2億2640万円②働く場の確保(8事業)に4154万円。③産業の振興(18事業)に1億4241万円、④このほか継続・拡充事業(33事業)に6億324万円に予算を重点配分し、これら投資的経費は前年度比37・9%増となっています。

また、人件費、扶助費、公債費など義務的経費は前年度比3・4%減少の49億5820万円となりました。

●平成25年度一般会計予算の補正

歳入歳出にそれぞれ2億2454万円を追加し、総額は111億1827万円となりました。主なものは、年度内事業の確定に伴う歳入歳出予算の減額のほか、特別

交付税等の決定による3億1126万円の増額、寄付金(市内法人による教育費寄付金30万円)などです。これに伴い歳出では公共施設等整備基金費を3億1176万円増額し、教育費の小学校費の教育備品購入費30万円に充てました。

請願陳情関係

提出された6件の陳情は、うち陳情第1号から4号を継続審査としました。また、陳情第5号の「霧島演習場内の市道路線廃止に関する陳情は関連する議案第16号及び議案第17号とともに産業厚生常任委員会と基地対策調査特別委員会の連合審査を経てみなし不採択に、陳情第6号は基地対策調査特別委員会での審査を経て、不採択としました。

【人事案件】

公平委員会委員の選任

木下 幸夫さん

教育委員会委員の任命

御手洗美恵子さん

3月定例会における議案等の審議結果

1. 議案等

会期：3月4日～3月24日（21日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
報告第 1号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—	—
報告第 2号	専決処分した平成25年度えびの市一般会計予算の補正（第9号）の承認について	—	原案承認
議案第 1号	公平委員会の委員の選任について	—	同意
議案第 2号	教育委員会の委員の任命について	—	同意
議案第 3号	西諸広域行政事務組合規約の一部変更について	総務教育	原案可決
議案第 4号	西諸広域行政事務組合の財産処分について	総務教育	原案可決
議案第 5号	第2次えびの市男女共同参画基本計画の策定について	総務教育	原案可決
議案第 6号	えびの市えびの高原施設条例の制定について	産業厚生	原案可決
議案第 7号	えびの市白鳥温泉施設条例の制定について	産業厚生	原案可決
議案第 8号	えびの市立公園条例の制定について	産業厚生	原案可決
議案第 9号	えびの市矢岳高原ベルトンオートキャンプ場条例の制定について	産業厚生	原案可決
議案第10号	えびの市コミュニティセンター条例の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第11号	えびの市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第12号	えびの市子ども医療費助成に関する条例の一部改正について	産業厚生	原案可決
議案第13号	えびの市定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第14号	えびの市社会教育委員条例の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第15号	消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備について	総務教育 産業厚生	原案可決
議案第16号	市道の路線廃止について	産業厚生	原案可決
議案第17号	市道の路線認定について	産業厚生	みなし可決
議案第18号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正（第10号）について	総務教育 産業厚生	原案可決
議案第19号	平成25年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正（第5号）について	産業厚生	原案可決
議案第20号	平成25年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正（第3号）について	産業厚生	原案可決
議案第21号	平成25年度えびの市介護保険特別会計予算の補正（第5号）について	産業厚生	原案可決
議案第22号	平成25年度えびの市水道事業会計予算の補正（第5号）について	総務教育	原案可決
議案第23号	平成25年度えびの市病院事業会計予算の補正（第3号）について	総務教育	原案可決
議案第24号	平成26年度えびの市一般会計予算について	総務教育 産業厚生	原案可決
議案第25号	平成26年度えびの市国民健康保険特別会計予算について	産業厚生	原案可決
議案第26号	平成26年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算について	産業厚生	原案可決
議案第27号	平成26年度えびの市介護保険特別会計予算について	産業厚生	原案可決
議案第28号	平成26年度えびの市水道事業会計予算について	総務教育	原案可決
議案第29号	平成26年度えびの市病院事業会計予算について	総務教育	原案可決
議案第30号	えびの市企業立地促進条例の一部改正について	産業厚生	原案可決
議案第31号	えびの市立病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第32号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正（第11号）について	—	原案可決

2. 請願・陳情

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
陳情第 1号	上江地区コミュニティセンター施設整備の要望について	総務教育	継続審査
陳情第 2号	パークゴルフ場建設に関する陳情書	総務教育	継続審査
陳情第 3号	えびの市前田小岡丸地区圍場整備事業に関する陳情書	産業厚生	継続審査
陳情第 4号	要望書（パークゴルフ練習場の確保について）	総務教育	継続審査
陳情第 5号	霧島演習場内の市道路線廃止に関する陳情書	産業厚生	みなし不採択
陳情第 6号	V L F 覚書に関する陳情書	基地対策調査 特別委員会	不採択

一般質問

企業誘致と雇用の確保について



小東 和文
議員

質問 今、一番市民が望んでいるのが企業誘致であり、特に若者の雇用の確保であると思う。市長は自治体の長として、政治家としてこの市民の願いに応えるべき責務があると思う。

市長 今後、工業団地の造成に向け具体的に取り組む。また企業誘致も進めていく。

質問 企業誘致対策監を4月から配置することだが、組織を編成し指示命令等を迅速に行うためには、企業誘致課を設置し、戦略的企業誘致プロジェクトチーム

3月定例会では、議長を除く14人の議員が登壇し、市長の政治姿勢、及び施政方針、26年度予算、農政問題、家畜防疫対策、土木行政、福祉政策、観光振興、パークゴルフ場の整備など幅広く活発な議論がされました。

その要旨を各議員が報告します。



過去に誘致している立地企業

の結成、その中で成功報酬制度なるものを創設する考えはないか。

市長 課の設置、制度等については、将来的に考慮する。

質問 飯野高校においては、数年前から存続運動が行政、市民とともに署名活動などを通じて広く市民に浸透しているが、本年度の

岡元用排水路の改修を防衛事業で



栗下 政雄
議員

質問 霧島演習場内の老朽化している岡元用排水路の改修や弁財天池の流末対策を防衛事業で取り組む考えはないか。

市長 岡元用排水路については霧島演習場内の廠舎建替えの影響を心配されているが、状況としては、これまでと変わらない。また、弁財天池については、まずは六者会議の意向を聞き、その後、防衛事業での取り組みを検討したい。

質問 私は農家の所得を上げた一心で、福岡の中国総領事館に出向き、にこまるを輸出できない

か相談に行った。減反も5年後廃止される中で、市長はこのことについてどう考えるか。

市長 そういった新たな販路の開拓も当然考えていかななくてはならない。その中で、中国での販売がどうかということについては、関税をかけても高く売れる条件があるのかどうかといったこと等を調査する必要があると考える。



演習場内を通る岡元用排水路

推薦志願者は昨年を大きく下回り30%減となっている。この危機的状況をどう考えるか。

市長 危機感は強めている。就職・進学の実績は向上しており、

飯野高校を守り育てる市民の会を中心に市民と一緒に魅力的な子どもたちの行きたい高校を目指し引き続き支援していく。

26年度予算について



北園 一正
議員

質問 12月の定例会で、えびの市の基幹産業である、農業振興予算のあり方について提案をしていたが、平成26年度予算の内容を伺う。

市長 農業は産業振興の基盤となっている。農家はそれぞれ高い技術を持つて営農に取り組んでおられるが、畜産農家においては飼育農家・飼育頭数の減少があり厳しい状況にある。平成26年度予算では、家畜貸付導入事業費9850万円・担い手農家の畜舎建設支援事業費1000万円等、農業振興に配慮した市独自の予算も計上している。

質問 平成26年度農業振興大会が2月25日、市とJAの共催で開催された。振興大会は、えびの市の農政を左右する重要な行事と考

え出席したが、参加者も少なく低調な大会であった。大会の内容についても検討する必要があると感じたが市長の感想を伺う。

市長 大会の一部については、通常行われる農政説明会のような感じもした。次回からは市とJAと十分な協議を行い、地元農家が主催者となる、真の農業振興大会になるように努める。



開催内容が指摘された農業振興大会

畜産を守り 身の丈の市政を



西原 政文
議員

質問 子牛の市場価格が肥育農家に悪影響を与えるのではないかと。肥育農家対策が必要だ。

畜産農政課長 高齢化と後継者不足で子牛の頭数が少なく、他の市場圏から小林市場購買が流入している。貸付牛要望も増えているので、肥育農家が共倒れにならないように対策を考える

質問 高原町や都城市、人吉市など更地が多い。工業団地造成を企業も決まらない中で進めるのはえびの市財政に大きな負担となる。日本の経済状況を見ると、市政は身の丈に合った計画を進めるべきだ。

市長 現在どこが適地か調査を行い、今後規模や予算を決める。

質問 安倍内閣は暴走していると言われる。政府は戦争準備のた



高値で取り引きされている子牛市場

め憲法改正を騒ぎ、秘密保護法を強行し、憲法解釈で戦争準備の集団的自衛権、アジア版NATOが必要と言う。えびの市からは、多くの自衛隊員を送り出し家族も心配される。市長は、反対の声を上げるべきだ。市長の見解を求める。

市長 国の政策が転換されようとしているが、国に市長としてコメントはしない。

職員に主力をおいた マンパワーの発揮を



池田 孝一
議員

質問 市長は新マニフェストで財政の健全化の維持と併せ、業務のアウトソーシングと広域処理を掲げている。どのような事か。

市長 具体的には、今回の定住促進住宅や今後の文化センター等の指定管理者化などである。

質問 改革は必要だが、蓄えた財政の「ゆとり」を喫緊の課題解決に向け、市民福祉・市民生活に注ぐことが最優先ではないか。

市長 行政改革の考えは常に持っておくことが大切で、政策を大前進するためには、単なる行政のスリム化だけでなく、今日、マンパワーが不可欠だと痛感している。新たな市民ニーズに 대응していくためには職員の300人体制にはこだわらずに改革を推進する。

質問 マニフェストには民間人

の活用で新しいノウハウを導入とある。むしろ現有職員の能力開発と活用で生き生きとした行政運営が必要ではないか。

市長 職員と民間起用に求める役割は異なるが、行政の継続性は議員指摘のとおり能力の蓄積の面でも職員が主力である。採用枠の増や被災地派遣、県への派遣でのスキルアップも考えている。



畜産防疫体制の強化を図れ



田口 正英
議員

質問 全国各地で発生している豚流行性下痢が本市でも確認された。養豚農家に対する対応はどのように対処する考えか。

畜産農政課長 各関係機関と連携し、養豚農家に対し情報を提供するとともに消毒薬等の配布等含め啓発に取り組む。

質問 京町えびの高原線の拡幅について、陳情・要望活動を行っているが、先行きが不透明である。現在の進捗状況と今後の対策を示せ。

建設課長 県土木も早急に整備が必要と認識している。市としても厳しい状況ではあるが今後とも継続して要望していく。

市長 京町からえびの高原につながる大変重要な道路と認識している。今後強力に要望していく。

質問 岡元椿堀線拡幅について、具体策はあるのか。

建設課長 平成27年度に予算を計上し、実現に向け調査する。

質問 入佐前一号線の改良工事について、日々の生活環境に行政サービスの不均衡の問題がある。今後に向けた対策は考えているか。

建設課長 自治会長をはじめ関係者等と協議を重ね対応していく。



改良が望まれる県道京町えびの高原線

安全安心の確保を



上原 康雄
議員

質問 えびの市の上水道の水源は、現在、川内川上流の表流水を取水しており、施設の維持管理や災害などの非常時における復旧対応を考慮すると、安全に飲用できる水を安定して供給するため、災害に強い第2水源の確保が必要となっている。これまでに掘った試験井の水質、水量の最終結果と今後の事業計画は。

水道課長 これまでに掘った3本の試験井の水質・水量などに問題はなく、第2水源として活用できる見通しが立った。平成29年4月から運用の計画である。

質問 通学路に危険な箇所がある。児童・生徒が安心して通学できる安全対策が重要である。市長の見解は。

市長 通学路の交通安全を確保



山内地区に整備された第2水源

するために、危険箇所の把握と関係機関等との連携強化による安全対策を実施していく。

質問 副市長の任期はいつまでか。

市長 副市長の任期は平成28年3月までである。平成26年度も引き続き副市長の任にあたっていただく。平成27年度についてはまだ結論はでない。

パークゴルフ場の整備を



西原 義文
議員

質問 えびの市の高齢者に対する健康増進事業について取り組み状況と新規事業を示せ。

社会教育課長 健康増進を兼ねた運動教室、保健指導を体育施設で月2回開催している。今後、会場を増やし多くの方に参加しても

らえるようにする。

質問 パークゴルフ場を整備する考えはないか。

社会教育課長 歩いて回るスポーツなので介護予防対策として有効なスポーツ施設だと思っている。

質問 パークゴルフ場を活用した健康増進について市長の考えは。

市長 高齢者に限らず健康増進につながるかと考えている。

質問 大中小規模のパークゴルフ場を設置する考えはないか。

市長 市に設置の陳情書もいただいている。社会教育施設ですのて現在社会教育課で調査等をしていただいている。

質問 市長の指示があれば担当課として設置に動くと思解する。

市長 体育施設なので教育委員会が合意形成されれば予算要求が上がってくると思う。教育委員会と連携を取って結論を導きたいと思う。



えびの市にも要望が上がっているパークゴルフ場
(写真は伊佐市の同施設)

通行できる市道に整備を



宮崎 和宏
議員

質問 平成26年度当初予算の中で三つの重点施策として、定住交流人口の増加、働く場の確保、産業の振興を掲げ、4億円余りの予算を計上されている。この施策でどれだけの人口増、働く場、産業の振興につなげていけるか。

市長 今年度の予算として、活性化を図るために計上したものである。

財産管理課長 定住促進対策として、新たな住宅所得者に対し一部補助するもので、すべての条件を満たす場合、最高100万円を補助するものである。

畜産農政課長 新規就農者、支援対策として月15万円を5年間支援するものである。

質問 コミュニティバスの実証運行の実績を見ると、一日平均1

人である、これまでの試行とほとんど変わっていない。これは利用しづらいからだと思っている。前回も指摘したようにタクシー利用制度を導入した方が良いと思うが。

企画課長 他市に「ふる里タクシー」として実施している所もある。今後検討する。

質問 市道栗下鳥井泉線は、栗下から白鳥に通じる市道で、昔は車が通れたが今通行できない。

建設課長 確かに市道である。調査する。



整備が指摘された市道栗下鳥井泉線

徳満橋の補修と榎田橋の入口拡張を



井上 義人
議員

質問 徳満橋の欄干、桁の塗料が落ち、鉄骨の腐食も数ヶ所ある。危険な現状にあるので、早急に補修はできないか。

建設課長 質問通告を受け、調査した結果、欄干等が腐食しているので、建設課の職員によって補修する。

質問 榎田橋の北側入口が急カーブで道路の幅員も狭く、歩行者と自動車との交差に支障となっている。また、榎田橋から直線で北部道路まで道路を延長する事により危険性がなくなる。

建設課長 橋入口の急カーブについては、国土交通省と協議し対応する。道路の新設延長については相手もあるので、橋の架け替え時点で検討すべきと思う。

質問 地域運営協議会の進捗状



腐食が目立つ徳満橋

況と上江地区の事務所の要望は。

市民協働課長 真幸地区は順調に協議会活動が運営されている。加久藤地区は平成26年度中に協議会が発足する計画であり、飯野及び上江地区も協議会発足に向け検討されている。なお、上江地区の事務所は、プレハブを計画している。上江中学校の活用は学校教育課と協議していく。

特産品の開発を急げ



山元 豪
議員

質問 えびの市における特産品とは何か。また、その特産品を「えびのブランド」として認定し取り扱う考えはないか。

市長 特産品の定義もいろいろあるが現時点でえびの市を代表す



長野県千曲市が認定している特産品

る農産物として「ひのひかり」、「宮崎牛」、「いちご」、「ピーマン」等がある。認定制度として、ブランド化の特徴をだし付加価値をつけていくのであれば、今後も研究していく価値があると考えます。

質問 特産品の展示で道の駅での展示コーナーの設置はどうか。

市長 えびの市で生産や加工されているものは、すでに展示してある。千曲市の取組のように何らかのシールを貼り「えびの」の名を出す事は可能ではあるが、特別なものとして認証するほどの種類や材料がない。

質問 永山運動公園の整備について、どのようになっているのか。
教育長 永山運動公園の進入道路、駐車場の確保及び公園の拡張を行い、利用者の利便性向上を図るため、永山運動公園基本計画を策定し、最良の方策を今後検討していく。

旧教職員住宅敷地宅地造成へ



蔵園 晴美
議員

質問 市有遊休地の旧川原教職員住宅敷地活用について宅地造成を提案している。市長は市有財産審査会で審査したいと答弁。半年近くなるが結果はどうであったか。

市長 平成25年12月26日に審査会を開催した。自治会からも定住策の提案もあり、住宅地として売却するという結果が示されたので、その方向で有効活用したい。また、場所的に宅地として申請しやすく現住宅は浄化槽も無く、建物も小さいので、取り壊して造成し、市外からの定住が進む政策として進めて行きたい。

質問 施政方針で定住促進を重点策として述べているが、平成26年度中に事業として着手できるか。
市長 補正で予算計上できるか精査ができていない。宅地造成を

含めて協議を進めていきたい。なるべく早い時期に方向性を議会に示したい。

質問 市内で製造される加工食品を対象としたブランド認証制度を設け、PRしたらどうか。

市長 えびのの特徴ある加工品をもっと増やす必要を感じている。



跡地利用が検討されている旧川原教職員住宅敷地

危機管理対策を十分に図れ！



竹中 雪宏
議員

質問 家畜の防疫対策は、どのような危機意識を持って対処しているか。また、防疫の一貫として、ワクチン代の支援と消毒ポイントによる消毒槽の設置が県境に必要と思う。対処する考えは。

畜産農政課長 市民への周知と農家に対し防疫の徹底を呼び掛けながら、本市の発生と同時に消毒ポイントをJAに設置した。

市長 要綱を見直しワクチン代も対象にする。また、消毒槽は県境の土地確保を含め取り組む。

質問 市立病院の施設改修と職員の教育・指導方針を示せ。

病院事務長 トイレは患者のプライバシーの配慮を含め利用しやすい環境に改修するが、風呂の改修は施設的に難しいと判断しているので、今後協議を進めていく。



防疫の初動体制として湧水町が整備している消毒槽

市長 市民が命を預ける場所でもあるので、接遇改善に向け対応を徹底していく。

質問 職員採用について、地元枠の確保が出来なければ、社会人枠を地元枠として導入する考えはある事務職等があれば検討するが、地元の皆さんを採用するための社会人枠は難しいと考える。

新たな教育施策の取組は



遠目塚 文美
議員

質問 平成26年度4月から始まる市内小・中学校全学年での30人学級について、保護者への説明会などはされたのか。

教育長 3月定例会終了後、具体的な実施方法や期待される効果などを保護者や地域の方々へ啓発し、理解を求めていく予定。

質問 施政方針の中で、30人学級も定住交流の一つと明記されているが、市長の考えは。

市長 一期目は市単独事業としてALTを採用し、非常に効果があった。二期目も教育委員会と協議しながら実施していく。人材育成が第一の目的だが、子育てや教育に熱心な自治体として、市内外へ伝える事で、定住・交流人口の増大に努めていきたい。

質問 平成26年度より全小学校



市内全小・中学校で導入された30人学級
(写真は真幸小4年生の教室)

区で実施する幼保小連携。接続推進事業の実施計画は。

教育長 全小学校区での実施は県内初。小学校区ごとに幼保小連携実行委員会を立ち上げ、基本的な生活習慣の育成、保育士と教職員相互の合同研修、幼児、児童の交流活動や合同学習など各地区の実態にに応じて取り組める事から行っていくことを申し合わせている。

議案等の 審査

総務教育常任委員会報告

総務教育常任委員会で審査した
主なものを抜粋して報告します。

条例改正関係

① 視聴覚ライブラリー業務の廃止

Q…どのような業務だったのか。

A…本市を含む西諸2市1町が昭和47年から共同処理していた事務で、16ミリフィルム・映写機や図書、DVDなどを共同購入し、貸し出していたもの。住民ニーズが落ち込んでいたため廃止する。

② 第2次男女共同参画基本計画の策定

Q…今回の計画期間と内容は。

A…平成26年度から30年度までの重点分野や施策の基本的方向を示したもの。市民アンケートの結果をもとに作成した。

③ コミュニティセンター条例の改正

Q…何が変わるのか。

A…中学校区毎に設置しているコミュニティセンターのうち加久藤地区の同センターを新たに設置するもの。建物（商工会館南側）はえびの地区職場連絡協議会からの無償譲渡を受け、一部



労働団体からの譲渡により設置された加久藤コミュニティセンター

④ 定住促進住宅の管理関係を改正

Q…どのような改正か。

A…定住対策として入居者を増やすため、希望者に特別な事情がある場合に敷金の減額または猶予を可能にするとともに、指定管理者による管理が行えるようにするもの。不動産業や宅地建物取扱業者を予定している。

⑤ 消費税率引き上げに伴う使用料、手数料の改正

Q…どのような料金が、いくらになるか。

A…現在の使用料や手数料に掛かっている消費税分5%を8%にする（10円未満は切捨て）もの。また、これまで条例で定める殆どの使用料等が消費税分を

改修し活用するもの。これまで
は事務室が無く、文化センター
を一部活用していた。



京町地区に設置している定住促進住宅

外税とし、上乗せする税率を表記していたが、今回の改正では、市民の利便性を考慮し、税込み価格（内税）に改正した。（ただし、水道料金関係を除く）

《改正》市民体育館の例
一般者、1時間使用の場合 使用料…150円（税別）
←
改正後 160円（税込） 電気料金…630円（税別）
←
改正後 680円（税込）

予算関係

①平成26年度一般会計予算

Q…109億1700万円の新年
度予算の基本的考え方は。

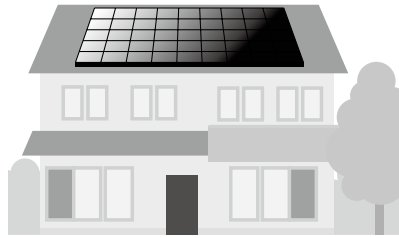
A…市民ニーズに的確に対応す
るとともに市のさらなる発展の
ため(1)定住・交流人口の増
加(総額2億2640万円)
(2)働く場の確保(総額41
54万円)(3)産業の振興
(総額1億4241万円)の3
つの重点施策枠を設け、予算を
重点配分した。

Q…「定住・交流人口の増加施
策」の新規事業、地域活性化事
業とはどのようなものか。

A…地域おこし協力隊の活用を従
来のコミュニティ活動や市民活
動の支援だけでなく、今年度か
ら地域資源の発掘・振興や農林
畜産業の支援、コミュニティビ
ジネスの開拓、有機農業関連活
動も加える。合計6名の協力隊
員を募集、確保し、活性化を図
るもの。

Q…同じく新規の住宅取得定住促
進支援金とはどのような制度か。

A…定住を促進し、人口減少を抑
制するとともに地域経済を活性
化するもので、自己の居住を目
的に住宅を初めて取得する場合、
その経費の一部として最高10
0万円を助成するもの。交付基
準には、市内に他の住宅を所有
しておらず、住宅取得により5
年以上居住する意思があり、2
人以上の家族構成で、自治会に
加入した場合など6要件全てを
満たした場合に助成対象となる。
また、5年以内の転出や住宅を
売った場合は助成金返還となる。



②平成26年度水道事業会計予算

Q…水道事業収入と事業費用の収
支はどう見込んでいますか。

A…収益的収支は次のとおり見込
んでいる。

収入予定額…3億5722万円
支出予定額…3億6653万円

A…歳入歳出それぞれ8751万
円を減額し、補正後の予算総額
は108億621万円となるも
の。

Q…建設改良事業の内容は。

A…東出水地区簡易水道統合整備
事業(1億1706万円)、防
衛施設周辺民生安定施設整備事
業(1億6439万円)が主な
ものである。

③平成26年度病院事業会計予算

Q…病院事業収入と事業費用の
収支はどう見込んでいますか。

Q…今回の最終補正で、水道事業
の収益的収支はどうか。

A…収益的収支は次のとおり見
込んでいる。

A…水道事業収入が3億2213
万円。事業費用が3億1301
万円となる。

Q…昨年に引き続き厳しい経営環
境が予想される。対応策は何か。

Q…今回の最終補正で、病院事
業の収益的収支はどうか。

A…すべての医療スタッフ及び
職員一同が経営の危機意識を共
有し経営改善に取り組んでいく
具体的には、新年度から午後診
療を再開し、赤字幅を圧縮した
い。

④平成25年度一般会計予算の補正

A…病院事業収入が7億852
3万円。事業費用が9億421
2万円となる。収益の根幹とな
る医業収益が医師配置体制の不
備等で安定せず、外来、入院と
もに患者数が減ったことによる。
市内開業医からの協力を得るな
ど今できる対応を懸命に取り組
んでいる。

Q…今回の10号の補正予算の概要
は。

総務教育常任委員長

池田 孝一

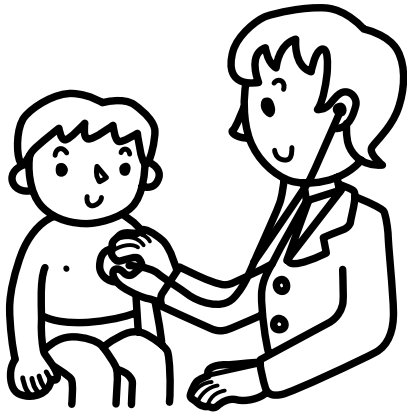
議案等の 審査

産業厚生常任委員会報告

産業厚生常任委員会で審査した
主なものを抜粋して報告します。

①子ども医療費助成に関する 条例の一部を改正

これまで小学校卒業までとして
いた医療費助成を中学校卒業まで
拡大するもので、通院は、中学生
の場合は800円の自己負担とな
ります。



Q…7月1日からの施行にするの
は、なぜか。

A…県医師会及び西諸医師会・宮
崎県国民健康保険団体連合会な
ど関係機関との協議やシステム
改修等の契約が3ヶ月ほど要す
るため。

②平成25年度一般会計予算の 補正

Q…福祉タクシー料金給付金の利
用状況はどうなっているか。

A…交付枚数1万2918枚に対
して、1月31日現在で利用数は、
8084枚（利用率62・6%）
の利用状況である。

Q…タクシー券の申請見込み数を
減額した理由は何か。

A…平成24年に条件緩和し対象者
が増える予定で予算計上してい
たが、申請者が少なくなったも
のであり、今後、利用増に向け
て協議をしていく。

Q…市の発注した事業で入札不落

がある。その理由は何か。

A…他管内の事業や県振興局な
どの工事発注が重なり、入札件
数が多かった事と現場代理人の
掛け持ちが禁じられていること
が影響したと考えられる。また、
えびの市は、500万円以下の
工事は特例として今年度から2
件までは可能としたが、小規模
クラスの業者は、現場代理人、



75才以上の高齢者のタクシー初乗り料金を助成する
福祉タクシーチケット

③平成26年度えびの市一般会 計予算

主任技術者等の確保が難しい状
況にあり、無理な発注に至る場
合もあったと思われる。なお今
後も地場産業の育成も含め早期
発注する。

Q…えびの市は、ひのひかりの
特A登録をめざして、掛け千米
を推進しようとしているが、現
在殆ど機械乾燥で行われている。
指導体制は可能か。

A…えびの産ひのひかりの販売を
全国展開するための対策で、日
本穀物検査協会の検査に出品す
る。審査向けの栽培であり、今
回の事業面積は1畝である。え
びの市の担当課とえびの市農協
の技術員が指導していく。

Q…京町温泉夏祭りは、市民の祭
りとなっているが商店等も減少
しており、協賛金や寄付金も集
めるのに大変厳しいと聞く。予
算を増額できないか。

A…市も協議を行ってきた。実行
委員会も頑張っているので検討
したい。

Q…都市計画の見直しの進捗状況はどうなっているか。

A…街づくりを考えた基本姿勢を定める必要があり、マスタープランを平成24年度から平成26年度までの3カ年をかけて進めている。完了次第、年次計画を立てて業務を進める。

④平成26年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算

Q…2年ごとに保険料が改正されることになっているが、今年度からはどうなるか。

A…保険料は、平成26年度は均等割を2900円、所得割を0.6%引き上げる。一人当たりの平均保険料は、4万8955円になる。

⑤市道の路線廃止と路線認定

霧島演習場の中にある市道の廃止と新たにこの付け替えされた路線を認定するもの。

Q…市道を廃止したら入会権が侵害され自由に入れなくなり、岡元用排水路の管理が不自由にな

るのではないか。
A…市道を廃止しても今までと同様に利用できる。

Q…霧島演習場使用協定書での水

路の管理や市民の入会権などの担保を取るようになるべきではないか。
A…災害など緊急時には入れるよ



廃道された市道西長江浦演習場線

⑥平成26年度特別会計予算関係

うに担保を取り、霧島演習場使用協定書の中に責任を持って明文化する。

◎国民健康保険特別会計予算
予算総額
36億9700万6千円（前年度比2622万9千円の増）

◎後期高齢者医療特別会計予算
予算総額
6億4152万4千円（前年度比1631万9千円の増）

◎介護保険特別会計予算
予算総額
30億2572万2千円（前年度比2億4345万9千円の増額）となりました。

産業厚生常任委員長
西原 政文

農業委員の議会推薦者を募集します

今年7月に、えびの市農業委員選挙が行われる予定です。

農業委員の定数は、公選枠13名、推薦枠5名、合わせて18名です。

えびの市議会では、農業委員会に2名の方を推薦出来ます。特に議会推薦2名については、男性、女性を問わず推薦を考えております。

なお議会推薦にあたっては、募集期間は決まっておりませんが、推薦状提出の必要があります。

**是非女性の方も
この機会に農業委員になりませんか。**



女性団体との懇話会を開催



議会が男女共同参画の実践として実施した懇話会

去る2月21日、議会と女性団体の皆さんとの懇話会を開催しました。

参加されたのは、えびの市地域婦人連絡協議会・J Aえびの市女性部・あきない会（えびの市商工会）・きさらぎ会の4団体の皆さんです。

今回は、「市の男女共同参画について」と「市の人口減少対策について」をテーマに設けました。各立場や視点から、子育て支援策や環境の整備・空き地や空き家の活用方

法・社会や家庭における女性男性のより良い在り方など、活発な意見が出されました。

初めての試みとして開催した懇話会でしたが、早くも次回開催をとの声を頂き、反響の大きさに議員一同喜びを感じています。

今後も、男女共同参画の啓発・拡大に議会としても率先して取り組むため、懇話会も継続的に開催する予定です。

議員別表決

表決が割れた議案等とその議員別表決

議案・陳情等賛否一覧表

議案番号	議案名	議員名															採決結果
		1 本 石	2 遠 目 塚	3 山 元	4 小 東	5 田 口	6 井 上	7 北 園	8 上 原	9 池 田	10 竹 中	11 西 原 (義)	12 西 原 (政)	13 蔵 園	14 宮 崎	15 栗 下	
議案第6号	えびの市えびの高原施設条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決	
議案第7号	えびの市白鳥温泉施設条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決	
議案第8号	えびの市立公園条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決	
議案第9号	えびの市矢岳高原ベルトンオートキャンプ場条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決	
議案第10号	えびの市コミュニティセンター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決	
議案第15号	消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決	
議案第16号	市道の路線廃止について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	原案可決	
議案第20号	平成25年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決	
議案第24号	平成26年度えびの市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決	
議案第26号	平成26年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決	
議案第31号	えびの市立病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決	
陳情第6号	V L F 覚書に関する陳情書	×	×	×	○	×	-	×	×	×	○	○	×	○	○	不採択	

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対 欠：欠席 -：棄権 /：議長は採決に加わりません

議会日誌

【12月】
24日 議会広報常任委員会

【1月】
5日 えびの市成人式

7日 議会広報常任委員会
平成26年新春賀詞交歓会

8日 議会運営委員会
平成26年消防出初式

12日 平成26年「新春地域・交通安全のつどい」

16日 自治公民館連合会役員との意見交換会

26日 第23回入権を考える市民の集い

29日 議会運営委員会管外視察
宮崎県人権の集い

【2月】
4日 福岡県みやま市議会行政視察来庁
5日 日向市議会行政視察来庁
12日 平成25年度教育研究論文表彰式及び一貫教育研修会

13日 地熱開発理解促進関連事業小浜発電所視察(～14日)

17日 議会運営委員会
神奈川県秦野市議会行政視察来庁
平成26年第1回宮崎県後期高齢者医療広域連合議会定例会

18日 議会運営委員会管外視察(～19日)

21日 女性団体と議会との懇話会
全員協議会

23日 平成25年度西諸広域防災訓練
平成25年度生涯学習振興大会

24日 基地対策調査特別委員会管内研修
平成25年度自衛官入隊・入校者激励会

25日 西諸広域行政事務組合議会定例会
平成26年えびの市農業振興大会

28日 議会運営委員会

【3月】
2日 九州国際高等学校第30回卒業式
4日 第8回留学修了式

4日 3月定例会開会

24日 3月定例会閉会

編集後記

桜の木々も、待ちわびたように満開の花をつけている行楽の季節がやってきました。

えびの市議会だよりが発行100号を迎えました。この記念すべき発行時に広報編集にたずさわることができ、とても喜びに感じます。これもひとえに市民の皆様のご理解ご協力のたまものとさせていただきます。

考えております。
一言で100号と言いましても年4回で25年という長きにわたり編集され続けてきました。
これまで先輩方の努力と共に築き上げた議会だよりは、今後も皆様にわかりやすい紙面をめざし切磋琢磨して参ります。

議会広報常任委員会

山元 豪